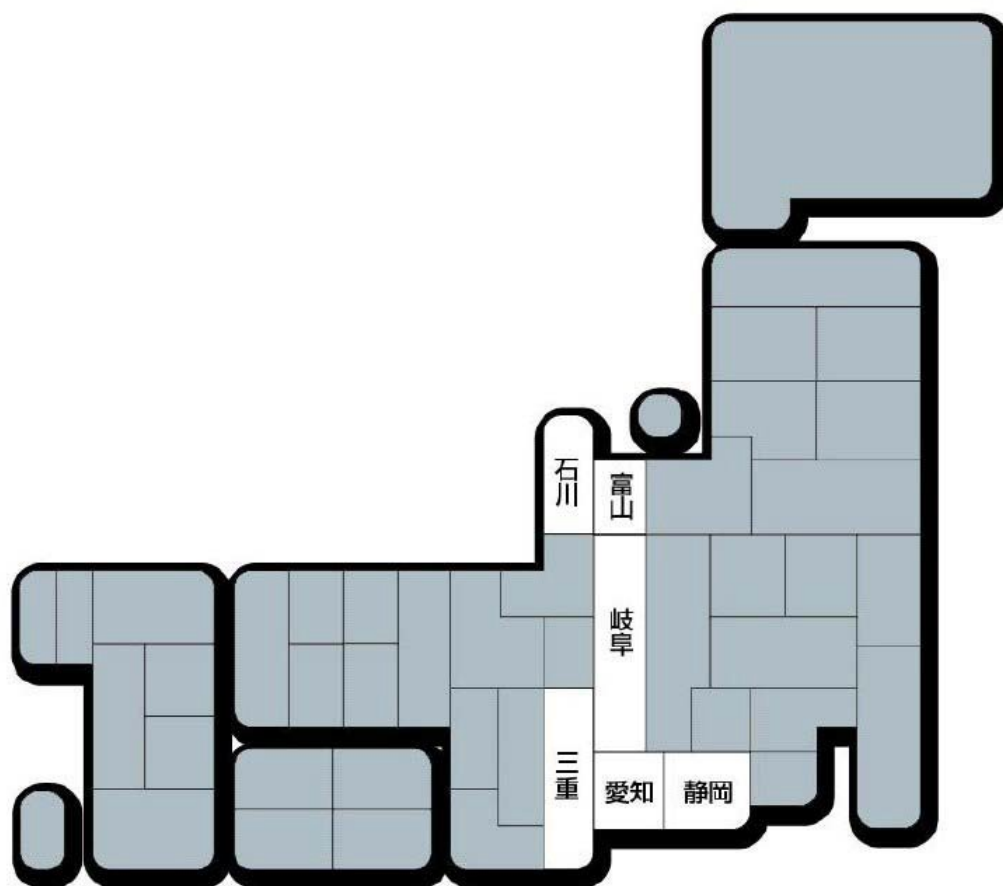


東海北陸国立病院薬剤師会 会誌



THP Tokai Hokuriku National Hospital Pharmacists Association



Vol.32

2024.11

目次

【巻頭言】

天竜病院 三井 陽二 …… 1

【施設紹介】

医王病院 渡邊 幸雄 …… 3

【委員会報告】

○教育研修委員会

静岡医療センター 平島 学 …… 4

○業務推進委員会

名古屋医療センター 安藤 舞 …… 13

○学術研究委員会

三重病院 山本 高範 …… 16

【編集後記】

…… 19

巻頭言

天竜病院 三井 陽二

いつも THP 広報からの依頼に対しご協力いただきありがとうございます。巻頭言の順番表は自分で作成しているのですが順番が来るのは承知していたのですが、実際に原稿を書くとなると悩むものです。過去の会誌を読み返してみると薬剤師業務に関わる事柄が多いのですが、広報を担当していますので広報業務に関する事について少しお知らせしたいと思います。

前任の広報担当理事の先生が巻頭言や施設紹介の依頼ルールやホームページの立ち上げなどの手間の掛かる部分を殆ど整備して下さっていたので時期をみて薬剤部科長や各委員長の先生方へ原稿依頼をすることや施設委員の先生方に名簿確認を依頼し、それらをまとめてホームページ内への掲載や会員へ配信することなどを主な業務としています。一人でも何とか対応できる内容であったこともあり、ホームページの閲覧促進を考え書庫のフォルダを増やし広報でまとめた総会などの資料を保管することや、長期休業者や欠員、中途採用者の状況が発信できるように名簿更新を年2回から4回に増やすなどを取り組んでみました。2016年途中より広報担当理事の役職に就いて新会長が就任するたびに継続の依頼があり、他の理事会役員の先生方に比べれば大変な業務ではないと思いき受けてきましたがその間に医王→七尾→天竜と異動があり8年ほど経っています。

ここ最近になり、会員の皆様もご存じのように業務用 PC の更新に伴いセキュリティ強化の影響を受け Edge から THP ホームページ (http) へアクセスしようとすると自動で https へリダイレクトされホームページを閲覧できない事象が発生しています。今のところの対応としては、先日メールにてお知らせしましたように①本部へ申請②お気に入りから削除③エラー表示後「s」を削除して http で再アクセスすると閲覧可能となりますが、正直なところ面倒な作業ではあります。因みに、本部へ申請しておくとも http のままの一部の製薬会社などへもアクセスできるようになります。(別の方法として Edge 以外のブラウザへ変更されている方もいらっしゃるようですが推奨して良いかはわかりません) 管理会社に確認したところ、現在使用している THP ホームページは 17 年前の 2007 年に制作したもので、現在主流の CMS での制作ではなく HTML を PC 上に手作業で作成したページに CGI の掲示などを組み込んだサイトで会員ページについてはフリーウェアプログラムを配置し、できる限り安価に制作したものだったことでした。(用語がよく分からない方は興味があれば調べてみて下さい) もしも https (SSL 化) に更新するとしてもサイト自体が古いため、そのままへ乗せ替えることは難しく一からホームページを制作することとなり、現状としてはメールでお知らせした方法で対応をお願いしているところです。管理会社からは、ホームページの再構築には SSL に対応したサーバー費用、CMS プログラムの設置費用、サイトの構築費用、頻りにアップグレードされる CMS 保守費用等にかかなりの金額が掛

かることになるので、もしも外部より不正アクセスで見られても困るような情報がないのであれば現在のまま継続して利用しても良いのではないかということでした。具体的な再構築費用は算出していませんが、広報活動予算の見直しとなると思われます。ただし、ホームページ有効活用の面から使い易さなども考慮する必要があるようにも考えます。今後につきましては、会員の皆様からのご意見も参考に検討していきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

最後に、今回は業務報告のようなものになってしまいましたがこれから巻頭言を担当される先生方も余り長い文章でなくても十分ですので自由に作成していただければと思います。

【環境】

医王病院は金沢市の中心部(金沢市役所)から北東約8キロに位置しており、I R森本駅より1.2キロまた、北陸自動車道金沢森本IC、及び金沢外回り環状線森本ICが0.5キロ以内にあります。周辺環境としては、病院南東側に、当院名称由来とされる医王山がそびえ、また敷地東側に隣接した丘陵地は金沢北の森・堅田城址公園として整備が進行中で、緑色濃い自然に恵まれた療養環境に最適の環境にあります。



「病院の屋上から見た景色」

【歴史】

S13年11月石川県結核療養所として創設されました。石川県立療養所医王園の名称で診療開始し、H16年4月独立行政法人国立病院機構医王病院として発足、H17年7月独立行政法人国立病院機構金沢若松病院と統合し、現在の医王病院に至っています。

【特徴】

当院は310床で、神経筋難病、重症心身障がい、筋ジストロフィー、子どものこころの専門的医療を行っています。神経難病では県の拠点病院として、子どものこころのケアでは基幹病院として指定を受け、隣接する特別支援学校から訪問教育を受けられる環境にあります。人工呼吸管理など高度な医療的ケアが必要な児への関わりが評価され、いしかわ医療的ケア児支援センターとしての活動も行い、他職種協働の場を広げています。チーム医療の推進と在宅支援に力を注ぎ、患者さん一人ひとりに寄り添う支援に取り組む病院です。



「病院正面玄関」

【薬剤科】

薬剤師の定員5名の施設です。外来の調剤は院外処方9割で、主に入院用の薬を日々調剤しております。入院の処方箋が約1600枚、注射処方箋が約2800枚(R6.8)で、無菌製剤業務も行っておりTPNも20件(R6.8)作成しています。病棟業務加算は算定できませんが、病棟活動には力を入れており1人当たりの薬剤管理指導件数は常に上位にあります。委員会活動も薬剤師が少ないながら医療安全部会をはじめ、感染対策委員会、褥瘡委員会、栄養管理対策委員会等々に参加しています。現在薬剤師が1名欠員ですが、日々頑張っています。



「薬剤科」

教育研修委員会の活動報告(令和6年10月)

教育研修委員長

平島 学

令和6年度採用薬剤師研修会は、名古屋医療センターを会場とする集合研修として開催することができました。受講生ができるだけ緊張することなく、のびのびと研修を受けていただき、受講生同士が気軽に話し合えるような環境を提供できるように、堅苦しくなく明るい雰囲気での運営を心掛けました。受講生からは「他の病院の同期と話すことができた。」、「お互いの悩みを共有することができた。」という声が聞かれ、ほっと一安心です。1日間という短い時間ではありましたが、対面で開催することの大切さと楽しさを改めて実感することができる研修会でした。「もっと話したい。」という声も聞かれましたので、来年度の東海北陸グループ化した研修会の開催に向けて、反映できるよう検討していきたいと思っております。また、

今回の受講生のアンケートで、薬学生対象のセミナー「けっこういいぞ！！NHO」の参加状況について確認したところ、11名のうち6名が参加しており、就職先の検討にある程度影響を与えていることがわかりました。「けっこういいぞ！！NHO」は、2022年度、2023年度と過去2年間開催しており、各演者からの貴重な講演をいただいております。今回の採用薬剤師研修会の受講生のアンケート結果からも一定の効果が得られています。せっかくの貴重な動画コンテンツですので、YouTubeを用いて公開していますが、なかなか閲覧数が伸びないことに頭を悩ましていました。

令和6年度の「けっこういいぞ！！NHO」は、薬学生に少しでも興味を持ってもらえるよう新たな取り組みを検討した結果、メタバースを用いた「仮想空間」に過去の動画を自由に閲覧できる空間を作成しました。メタバースの「仮想空間」は、アバターと呼ばれる自分の分身を介して今後様々なイベントに利用可能です。例えば、NHOに興味を持ってくれた薬学生に対して、THPで専門的に活躍している薬剤師が参加して、双方向に直接質疑応答をすることや、年齢の近い若手薬剤師のリアルな声を薬学生にダイレクトに届けることも可能となります。操作に慣れが必要であり、システム的な制限もいくつかありますが、今後、活用方法を検討していきたいと考えています。

NHO-PADに関しては、昨年同様NHO-PADを用いた評価を実施しました。7～8月に令和5年度入職者の3回目と令和6年度入職者の1回目の自己評価、他者評価を行っていただきました。評価結果は、別途お送りしますので、今後の指導・教育にご活用ください。

今回は、「採用薬剤師研修会の様子」と「けっこういいぞ！！NHO in メタバース」についてご紹介したいと思います。

◆ 令和 6 年度採用薬剤師研修会

開催日：令和 6 年 6 月 29 日(土)

開催方法：名古屋医療センター

受講生：令和 6 年度新採用者 9 名、令和 5 年度中途採用者 2 名

令和 6 年度は令和元年以来、久しぶりの集合研修として開催することができました。遠方から参加する受講生やタスクの負担軽減のため、令和 5 年度の名古屋医療センターと金沢医療センターにおけるサテライト開催の研修と同様に昼集合とし、昨年アンケートの結果を反映させた実施計画書・スケジュールを検討したうえで半日完結の研修会として開催しました。当日は、大きなトラブルもなく無事に実施することができました。

限られた時間ではありましたが、顔を合わせて研修をすることで、はじめは表情が硬かった受講生も次第に笑顔がみられるようになりました。アンケート結果から研修自体の満足度は高く、THP に仲間がいること、その繋がり大切さや貴重さを感じ取っていただくことができましたと思います。一方で、もう少し新人同士のコミュニケーションをとる時間が欲しいという意見も多く、次回以降の課題したいと思います。

受講生全体写真



アイスブレイク 共通点を探そう！



セッション 1 問題抽出 SGD 風景



セッション 1 発表風景と活発な質疑応答



セッション 2 指導計画 SGD 風景



セッション 2 指導計画 ロールプレイ風景



セッション 2 模擬患者役 久田先生からの総評と良い指導例の動画視聴



講義 コミュニケーション 久田先生 風景

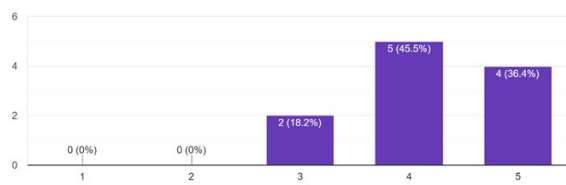


受講中の受講生

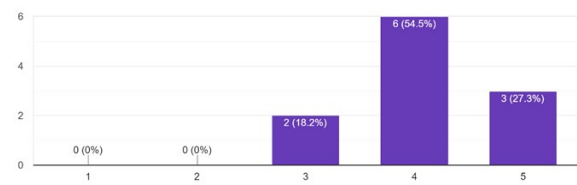


アンケート結果

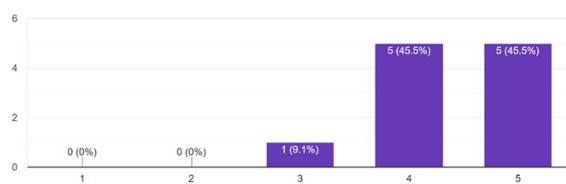
1. ワークショップの流れにスムーズに入り込みましたか？
11件の回答



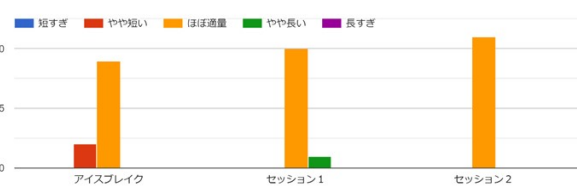
2. あなたは討議にどの程度参加しましたか？
11件の回答



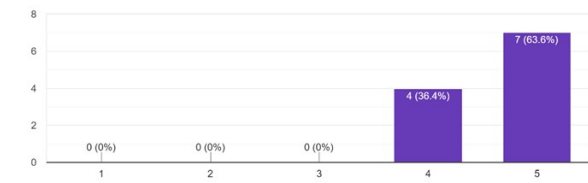
3. 今日の内容は、あなたのニーズにマッチしましたか？
11件の回答



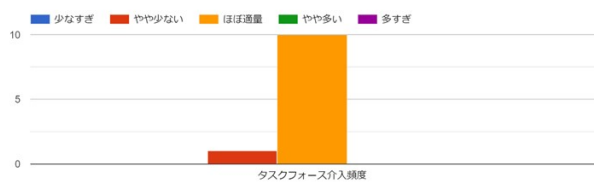
4. 内容に対する時間は、いかがでしたか？



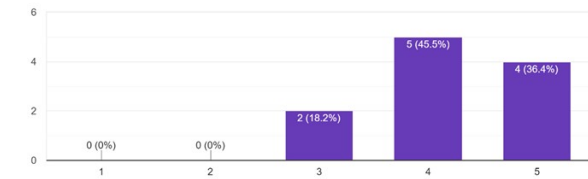
5. コミュニケーションスキルについての講義は、役に立ちましたか？
11件の回答



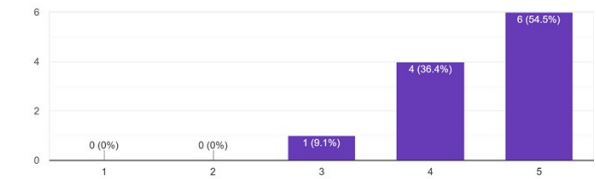
6. グループ作業中、タスクフォースが紹介した頻度については、いかがでしたか？



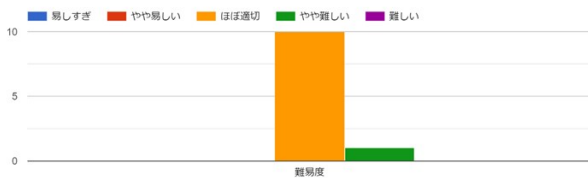
7. タスクフォースは、グループ作業進行のサポートになりましたか？
11件の回答



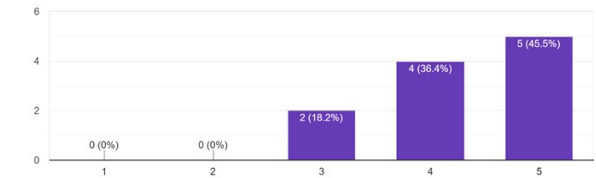
8. 内容の価値についていかがでしたか？
11件の回答



9. 内容の難易度はいかがでしたか？



10. 今後ともこの様な研修会を行うことをどう思われますか？
11件の回答



11. 今回の研修会全体にわたり、良かったこと

- ・他病院の普段かかわりのない新人とのかかわりが持てたこと。
- ・他の病院薬剤師の先生方との交流
- ・講師の話
- ・研修会が終始良い雰囲気だったこと。
- ・他の病院へ配属された方と直接お話ができたこと。
- ・新採用の方々と顔を合わせることができた点。
- ・同期と直接会って話すことができたこと。
- ・堅苦しくなく、明るい雰囲気を作ってくださいました。
- ・同期と話す機会があり、お互いの悩みを共有することができた。
- ・病院外の人と顔合わせができたこと
- ・同期に会い、近況報告や入職後の進捗等話すことができたこと

12. 今回の研修会全体にわたり、良くなかったこと

- ・SGD の他チームメンバーとの交流がもっと出来たらと思います。
- ・もう少し薬剤師同士の交流があればと感じました。
- ・名古屋遠い
- ・課題症例ではなく、新人同士でコミュニケーションをとる時間がもう少しあってもよいかと思った。
- ・グループ分けが一定だったので、別グループの方とあまり話ができませんでした。
- ・グループで話をする機会は十分にあったが、個人で話す機会は少ないと感じた。
- ・時間が長かったこと。
- ・タスクの先生の助言がもう少し欲しかったかもしれないです。
- ・アイスブレイクが短く、グループワーク以外の人とあまり話すことができなかった。
- ・ディスカッションの形式が慣れていないため時間がかかりやすい
- ・グループワークで、一人ずつ割り当てられた役職の業務量に差があったこと

13. その他、感想や伝えたいこと

- ・楽しい会でした。ありがとうございました。
- ・とても有意義な時間を過ごすことができました。
- ・特にございません。
- ・新採用者の方々や先輩先生方にお会いできて、声をかけていただきとても楽しかったです。お忙しい中このような機会を準備、開催いただきありがとうございました。

受講生のレポートのまとめ

アイスブレイク

趣味や出身地、好きな食べ物などの共通点を見つけ、和やかな雰囲気での交流できた。
同期との情報交換や意見交換を通じて視野を広げることができた。
初対面の同期と直接会って話す機会を得て、良い刺激を受けた。

セッション 1:問題抽出

提示された症例から問題を抽出した。
KJ法を用いて意見を体系的に整理することができた。
模擬症例を通じて、患者の生活背景や問題点を深く理解することの大切さを学んだ。
グループディスカッションを通じて、多様な視点からの意見交換を行うことができた。

セッション 2:服薬指導計画

患者に対する服薬指導の計画を立てた。
模擬患者とのロールプレイを通じて実践的な指導を行い、フィードバックを受けることができた。
患者の視点に立った指導の重要性を再認識することができた。
教育方法や表現方法を工夫する必要性を痛感した。

久田先生の講演

患者の立場や心理的な状態を理解することの重要性を学んだ。

患者の感情シグナルに注目し、共感的な対応を心掛けることが重要。

患者の不安や恐怖を和らげるためには、適切な情報提供とサポートが必要。

「患者メガネ」や「ネガティブフィルター」の概念を理解し、患者に寄り添った対応を心掛ける。

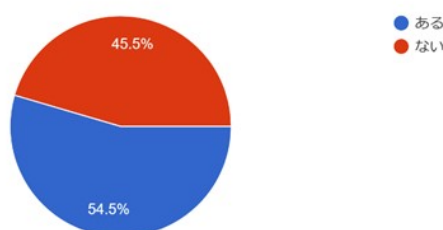
◆ けっこういいぞ！！NHO in メタバース

公開日：令和6年9月1日(日)

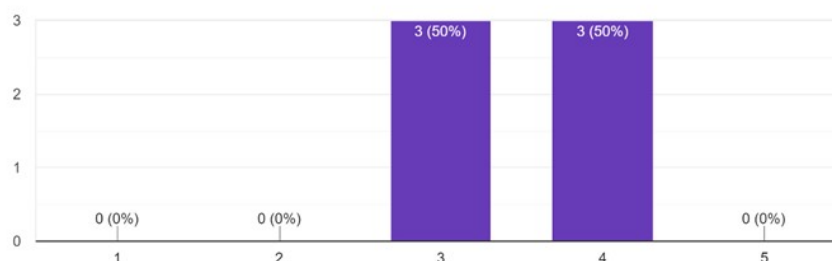
公開方法：メタバース(DOOR)

令和6年度採用薬剤師研修会の参加者11名に対して、けっこういいぞ！！NHOに関するアンケートを実施しました。「THP教育研修委員会が冬に行っている、薬学生向け研修会「けっこういいぞNHO」に参加したことがありますか？」という設問に対して、11名中6名(54.5%)が参加しており、その6名のうち「けっこういいぞNHOは、就職先の検討にどの程度影響を与えましたか？」という設問に対して、5点満点中4点が3名、3点が3名でした。この結果から、けっこういいぞNHO！！は、ある程度、薬学生の就職先の検討に影響を与えていることがわかりました。

13. THP教育研修委員会が冬に行っている、...ういぞNHO」に参加したことがありますか？
11件の回答



14. けっこういいぞNHOは、就職先の検討にどの程度影響を与えましたか？
6件の回答



「けっこういいぞ！！NHO」は、過去2回Liveで開催しており、動画コンテンツとして収集しています。今までも、人気のあったジャンルのコンテンツを追加しながらYouTubeを利用したオンデマンド配信を行っていましたが、再生回数が伸び悩んでいました。

そこで、薬学生に少しでも興味を持ってもらえるような新たな取り組みとして、メタバースを用いた「仮想空間」に過去の動画を自由に閲覧できる空間を作成しました。メタバースの「仮想空間」では、アバターと呼ばれる自分の分身を介して、今後様々なイベントに利用可能となります。例えば、NHO

に興味を持ってくれた薬学生に対して、THP で専門的に活躍している薬剤師が参加して、双方向で直接質疑応答をすることや、年齢の近い若手薬剤師のリアルな声を薬学生にダイレクトに届けることも可能となります。操作に慣れが必要であり、システム的な制限もいくつかありますが、今後、様々なテストを行い、活用方法を検討していきたいと考えています。

紹介ポスター



仮想空間における動画公開スペース



ミーティングスペース



個別の動画閲覧スペース



業務推進委員会活動報告(令和6年10月)

業務推進委員会委員長
安藤 舞

業務推進委員会は、今年度より副委員長を交代し、新メンバーを加えて活動して参りました。
昨年度に引き続き、研修や業務量調査などの目的をより明確にするために委員会を「業務向上小委員会」、「業務改善小委員会」、「業務共有小委員会」の小委員会に分類し活動しております。
今回は2024年4月から2024年9月までの各小委員会の活動を報告させていただきます。

《業務推進委員会コアメンバー》

委員長	安藤 舞(名古屋医療センター)
副委員長	細江 慎吾(豊橋医療センター) 竹田 あかね(豊橋医療センター)
小委員会 コアメンバー	青木 まりあ(金沢医療センター) 磯部 忠良(静岡てんかん神経医療センター) 伊藤 朱里(医王病院) 伊藤 大輔(静岡医療センター) 稲垣 雄一(静岡医療センター) 酒谷 健斗(金沢医療センター) 深尾 那実(名古屋医療センター) 松岡 哲平(七尾病院) 山梨 領太(長良医療センター) 山本 正和(石川病院)

◆業務向上小委員会◆

① THP プレアボイド大賞 WG

小委員長:酒谷、松岡、山梨

この小委員会では、各施設の優良プレアボイド情報を収集・共有することで、日々の薬剤師業務内容の参考・向上につなげることを目的としています。

2024年6月の総会にて第6回 THP プレアボイド大賞の結果を報告させていただき、各施設に賞状、副賞を授与しました。

現在第7回 THP プレアボイド大賞準備のため各施設のプレアボイドの収集を行っています。

◆業務改善小委員会◆

① 働き方改善 WG

小委員長:磯部、山本

この WG では、家庭を持った女性薬剤師が働きながら業務をどのように両立させているかをインタビュー形式で聞き取りを行います。その内容を THP 会員で共有し、働き方を参考にし、会員で考えていくことを目的としています。

家庭を持たれている薬剤師の先生だけでなく、これから家庭を築かれる予定の先生方にもご一読いただき、今後の働き方の参考の一例としていただければと思います。

2024 年 12 月より「NHOママ薬剤師(Pharmama)に聞く Vol.9」の作成を開始予定です。

今回は育児休暇を取得した男性薬剤師にインタビューできないか検討中であり、その可否にあわせてタイトル変更も検討中です。

Vol.1～8 については、THP HP 業務推進委員会書庫(下記リンクから会員ページに入ってください)よりご確認ください。

<http://www.tokaihokuriku-nhp.jp/kaishi/index.html>

② QC 活動 多施設共同 QC

小委員長:伊藤朱

業務推進委員会では QC 活動の推進も行っており、定期的な研修会を行っていました。今年度は QC を体験し自ら QC を実施しようと思えるきっかけを作るため、また他施設の仲間と知り合うために、医薬品ロス削減をテーマに多施設共同 QC 活動を企画しました。

2022 年 10 月より QC チームの参加募集を行い、4 施設で活動を開始し、各施設で医薬品の使用期限管理をどのように行っているか現状把握を行うために、THP 全施設にアンケートを行いました。

2024 年 2 月には医王病院の QC 活動報告会でも、これまでの活動をまとめたものを発表し、優秀賞をいただきました。その後東海北陸ブロックの最優秀賞を受賞し 2024 年 10 月の総合医学会で発表予定です。

多施設 QC 参加施設:医王病院、金沢医療センター、長良医療センター、名古屋医療センター

③ MBTI 研修会(教育研修委員会との共催)

小委員長:安藤、伊藤大、稲垣

MBTI は人の多様性や自分の心を理解することを目的として作られた、世界で最も有名な国際規格に基づいた性格検査の一つです。2024 年 1 月に静岡医療センターで第三回 MBTI 研修会を開催しました。昨年度に引き続き外部委託研修として開催し、MBTI の認定ユーザーである大里 洋一先生をお招きしました。セルフチェックリストによるタイプ分類を行い、グループワークによって自分の潜在意識の中にあるタイプを深く検証し、確定させていきます。次回は三重地区での開催を検討中です。

◆業務共有小委員会◆

① 薬薬連携 WG

小委員長:青木、伊藤大、深尾

この WG では、THP の各施設で実施している薬薬連携を紹介して、薬薬連携の推進を目的としています。

今年度は薬薬連携からは少し離れますが、各施設の周術期薬剤管理加算についての取り組みを収集し、THP HP へ掲載予定です。

過去の取り組みについては、THP HP 業務推進委員会書庫(下記リンクから会員ページに入ってください)よりご確認ください。

<http://www.tokaihokuriku-nhp.jp/kaishi/index.html>

② チーム医療

小委員長:山本、深尾

2024年度のチーム医療担当者名簿の作成に向けて準備を開始しております。

以上、委員会報告となります。

業務推進委員会では、少しでもTHP会員の業務遂行能力の向上や業務の効率化、業務の共有につながればと考えております。お時間あるときにHPをご覧ください、会員の皆様の業務にお役立ていただきますようお願いいたします。

2024年10月4日

令和6年度前期学術研究委員会活動報告

学術研究委員会委員長 山本高範

1. 令和6年度 学術小委員会活動実績 多施設共同研究

研究課題（継続中）

- 1) 「サクビトリルバルサルタンとカルペリチド併用が心不全患者の尿量に及ぼす影響の解明」
三重中央医療センター 築川樹
- 2) 「内因性バイオマーカーを利用したリファンピシンおよびクラリスロマイシン同時併用下におけるCYP3A4活性の測定」
静岡てんかん・神経医療センター 山本吉章
- 3) 「決定木分析を用いたテイコプラニン誘発性肝障害におけるハイリスク患者予測フローチャートの構築」
三重中央医療センター 大井勇秀

2. 令和6年度会員研究実績（2024年4月～2024年9月）

国内外学術誌掲載（査読あり）

- 1) 大井勇秀 「Decreased Hepatic Functional Reserve Increases the Risk of Piperacillin/ Tazobactam-Induced Abnormal Liver Enzyme Levels: A Retrospective Case-Control Study」 Annals of pharmacotherapy, 2024 Jun 6, doi: 10.1177/10600280241255837.
- 2) 早川裕二 「薬剤起因性老年症候群と副作用に関する後方視的研究」日本病院薬剤師会雑誌. 2024; 60: 1018-1022.
- 3) 築川 樹 「Changes in urinary output due to concomitant administration of sacubitril/ valsartan and atrial natriuretic peptide in patients with heart failure: a multicenter retrospective cohort study」 Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, 2024 Sep 16, doi: 10.1186/s40780-024-00379-1.
- 4) 山本吉章 「Changes in Perampanel Pharmacokinetics and Cytochrome P450 3A4 Activity Before, During, and After Pregnancy」 Ther Drug Monit. 2024; 46: 548-551

3. 令和6年度 学術研究委員会コアメンバー会議

日時 2024年3月16日（土）14時30分～15時30分

開催方法：現地開催

協議・報告事項

1) 学術研究委員会の昨年度の統括と次年度以降の目標

学術主催の研究会で若手薬剤師の発表数が減少している。さらに、医療薬学会での発表者数が年々減少しており、その対策が急務である。複数査読の論文数はここ数年一定数以上を保っている。医療薬学会の専門薬剤師数と研修施設数は異動に伴うもの以外は昨年より変化はない。THP 会員が入職後より研究活動に取り組める環境を作り上げ、長期的には論文投稿まで完遂できる研究リーダーを育成し、専門薬剤師および研修施設の増加を目標とする。

2) 論文賞

令和5年度の論文数は13報であった（前年度比-3報）。複数査読の学術誌にアクセプトされた3名の先生（大井勇秀先生、早川裕二先生、鈴木亮平先生）に論文賞（ギフトカード5000円）を贈呈する。

なお、山本吉章先生（本賞の創設者）、間瀬広樹先生（辞退）、朝居祐貴先生（退職）は対象外とする。

3) 研究会、勉強会について

令和6年度より夏季にTHP 合同症例カンファレンス、冬季に研究討論・発表会を平日に完全Web開催とするが演題数が増えた場合は開催数を増やす。昨年度は、エントリー数が少なかつたため、各施設1演題はエントリーできるよう事前に準備をすすめる。本会を契機に次の全国学会で発表できるよう目標を設定する。「Web論文抄読会」は、令和5年度と同じ頻度で開催する（主担当：座光寺伸幸先生）。昨年度より開始した「臨床研究の第一歩を踏み出そう！取り組み報告・現状調査をしてみよう」は、アンケート結果が好評であったため、令和6年度も開催する（主担当：鈴木亮平先生）。また、昨年度よりオンデマンド研修会として再開した研究の基礎と一連の流れを学ぶ「臨床研究の進め方に関するオンデマンド研修会」も継続とする。講師は現コアメンバー、学術研究委員を組み合わせ日常臨床の疑問から、研究計画の立案、解析、結果の考察について解説する。開催方法は、収録は現地開催とし、同日にコアメンバー会議も行う。

4) 令和6年度 小委員会活動計画

今年度も共同研究を継続する。昨年の研究会で採択された共同研究および新規研究課題を実施する。

5) 実施体制

前述のメンバーで学術委員を運営する。活動内容と担当者については下図参照。

<p>研究討論・発表会（臨床研究の第一歩含む）</p> <p>鈴木 亮平 三重中央医療センター 大月 慎之助 金沢医療センター 大井 勇秀 三重中央医療センター 松木 克仁 名古屋医療センター</p>	<p>論文抄読会</p> <p>座光寺 伸幸 静岡医療センター 鈴木 亮平 三重中央医療センター 田代 匠 金沢医療センター 築川 樹 三重中央医療センター</p>
<p>合同症例カンファレンス</p> <p>近藤 芳皓 名古屋医療センター 表 早紀 金沢医療センター 大井 勇秀 三重中央医療センター</p>	<p>オンデマンド研修会</p> <p>コアメンバー+講師を経験された先生方</p>

6) 令和6年度予算案

前年度から継続している論文賞・発表賞、発表会、研修会の経費に ZOOM ライセンス料を加え計上する。委員会の経費削減に努めるため、今年度も薬剤部長協議会の競争研究費獲得を目指す。

4. 令和6年度 前期活動報告

○ 第7回 THP 合同症例カンファレンス

日時：2024年7月23日（火） 17時30分～19時00分

場所：Zoomによる口頭発表

座長：名古屋医療センター 近藤芳皓

- 1) 「脳腫瘍患者に対する麻薬使用においてケミカルコーピングが疑われた症例」
金沢医療センター 薬剤部 橋本 叡
- 2) 「不規則勤務の患者に対するインスリン導入に関与した一例」
三重中央医療センター 薬剤部 金森 敏伸
- 3) 「訪問調剤を利用した院外処方への切り替えに介入した一例」
三重病院 薬剤科 野田 真愛
- 4) 「症候性てんかんに対してカルバマゼピンを開始し、ワルファリンとの相互作用が生じた症例について」
静岡医療センター 薬剤部 今井 大貴

5. 学術研究委員会主催の勉強会

○ 「臨床研究の第一歩を踏み出そう！取り組み報告・現状調査をしてみよう」

日時：8/2（金） 17時45分～19時00分

場所：Zoom

○ 「Web 論文抄読会」

日時：6/13（木）、8/15（木）、10/3（木） 17時30分～18時30分

場所：Zoom

6/13：脂質異常症におけるスタチンの使用法について

8/15：DOAC 服用患者の脳梗塞再発予防の治療薬の選択

10/3：メロペネムの投与方法、持続投与か間欠投与か

○ 「臨床研究の進め方に関するオンデマンド研修会」

日時（現地開催）：2024年3月16日（土）

日時（オンデマンド開催）：2024年4月19日（金）から2024年5月26日（日）

編集後記

会誌 Vol.32を発行します。

今回の施設紹介では天気の良い日に屋上まで上がって写真を撮っていただいたとのことありがとうございました。紹介の中に登場する堅田城址公園には過去に行ってみたことがあるのを思い出しました。急勾配の細い山道を頂上まで登って行くとかつて山城あったであろう空地に到着します。寒い時期行ったため緑が鬱蒼としておらず、森本インター方面や反対側の津端方面など比較的四方の景色を眺めることができたのを覚えています。お近くの方で興味があれば一度挑戦してみても良いかもしれません。ただし、山道ですので野生の動物には十分ご注意下さい。

東海北陸国立病院薬剤師会会誌 第 32 号 令和 6 年 11 月発行

発行元 東海北陸国立病院薬剤師会

(独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤科内)

発行人 会長 竹内 正紀 (静岡医療センター)

編集 広報担当理事 三井 陽二 (天竜病院)

